



岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

高校生ボランティアアワード

宮議所士
富士高校会議所

SDGs実践紹介

富士富高校会議所はこのほど京都の新宿住友ビルで開かれた、公益財団法人風に立つライオン基金主催の「高校生ボランティアアワード2023」に参加

動することが自分自身の成長につながることに気づくことを目的に開催している。

今回、7月のオンライン予選を通過した同会議所から杉山葉奈りーだーら約10人が参加。会場内には全国から約100の、地域を元気にするボランティア活動を紹介するブースが並んだ。同会議所

に取り組む仲間たちに、ブース発表を通してSDGs実践ママズ元肥（げんび）を紹介しながら交流した。同イベントは、同じ

志を持つ高校生の交流会として開かれ、今年で8回目を数える。次世代をひらく生徒が「社会に対してどんな行動をすべきか」を考え、「人のために行



出場したメンバー

域活性化活動に取り組む高校生やゲストコンテナーターとの交流に大変充実した思いを持った。今後も持続可能な社会づくりを目指し、富士富の元気に向けて活動を続ける」と

シナジーを作りにチャレンジすることで、耕作放棄地の有効利用を図っていることを紹介した。

なお、同会議所は今後、マスマス元肥を活用してジャンボカボチャづくりを奨励し、ジャンボカボチャコンテストの開催なども計画している。

元肥を知り、興味深く

質問する青森県内の農

業高校関係者らがあつた。同会議所のこれまでの取り組みが認められ、主催者から感謝状が贈られた。

参考者は「全国の地

は「マスマス元肥を使って富士富をマスマス元気に!!」を発信。産業廃棄物として処理していた特産ニジマスの残渣（ざんさ）と朝霧牛の糞尿（ふんによう）でたい肥を作り、それを使い栽培した作物で

来場者の中には、東日本大震災の復興に使

用したことでもマスマス参加者は「全国の地